



夏休みもあと一週間…

毎日、大変な暑さが続いておりますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。子供たちは元気に過ごしている様子で、今のところ、学校に心配な報告等もなく、安心してるところです。夏休みも残り一週間となりますが、地域の皆様には、子供たちの様子を引き続き見守っていただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

さて、私たち教職員は、子供たちのいない夏休み期間に、様々な「**研修**」に取り組んでいます。県や町等が主催する研修会に出向き、他の学校の先生方と一緒に学習したり、校内において、普段はなかなか時間がとれずにできない研修などを行ったりしています。主な内容は「子供たちの学力向上に向けた授業改善について」、「ICT 機器の効果的な活用法について」、「子供たちが安心して生活できる学校づくりについて」、「教職員のコンプライアンスについて」などです。研修したことを9月からの学校生活で、子供たちに還元できるように努めてまいります。

県立医療大と連携 「心肺蘇生法・AED 研修」

今年度は**コミュニティ・スクールとしての活動の一環**として、学校運営協議会委員である県立医療大の先生にご尽力をいただき、研修を実施することができました。この「心肺蘇生法・AED 研修」は、例年、万が一の時に備えて職員が学校で行っている研修ですが、今年度は職員だけでなく、地域の方々にもご参加いただき、県立医療大の充実した施設の中で、研修を受けることができました。



当日は、「熱中症の予防と対処法」や「気道異物除去」等について、医療大の先生から講義を受けたり、「胸骨圧迫や人工呼吸」「AED の使い方」について実技研修を行ったりしました。看護学科の4名の先生方にもご協力をいただき、大変有意義な研修となりました。(8月5日 10:00～12:00 実施)

県立医療大は、児童が医療や科学に親しむための体験教室(アイラボキッズ)を開催したり、地域高齢者の介護予防に取り組んだ介護予防教室を開催したりと**地域貢献活動**にも力を入れている大学です。今後も、二小との連携についてご相談をしながら、子供たちにとって貴重な経験をさせていただければと考えております。